

令和8年度(2026年度) 大津市立南郷中学校 グランドデザイン

滋賀の教育の基本目標

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

～「三方よし」で幸せ育む滋賀の教育～

<三つの視点> 子どもたちが主体の授業づくり
学びを支え合う集団づくり
協働して取り組む学校づくり

学校教育目標

「自主・自治・自立」

～自ら考え、相談し、自分たちでつくる学校～

「凡事徹底」

～規範意識と継続的な実行力～

「人・物・時間を大切に」

～地域・保護者・学校で育てる～

大津市の教育の基本理念

一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育

・一人ひとりの可能性を引き出し、心豊かに生きる力を育む
・すべての子どもが安心して学べる教育を推進する
・ともに学び支え合う社会の実現を目指す

めざす学校像

- ・一人ひとりが大切にされ、明日も登校したいと思える学校
- ・子どもを認め、褒めて伸ばす学校
- ・全体を見て組織で動く学校
- ・安心・安全な学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

めざす生徒像

- ・進んで学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・たくましい生徒
- ・郷土を愛する生徒

校訓
自主・敬愛・剛健

めざす教職員像

- ～生徒・保護者・地域から信頼を得るように努める教職員～
- ・崇高な使命感、実践的な指導力、豊かな人間性を持った教職員
- ・人権感覚が豊かで子どもの気持ちを理解できる教職員
- ・組織の一員として自分の役割を確実にこなす教職員

経営の基本方針

「一人ひとりを大切に・命を大切に・

子どもに関わるすべての人をつなぐ」

One Team Nango

具体的方策

安心・信頼感のある学校(居場所)づくり

- ★次世代を生き抜く確かな学力の向上
- UD視点からの授業づくりと集団づくり
- 基礎学力の定着を目指した取組の推進
- 校内ウイング(こいこいルーム)を活かした学びへ接続
- ★積極的な生徒指導支援「指示は統一、指導は個別」
- 生徒指導3つの機能を活かした仕掛け
- 生徒会を軸にした主体的活動の推進と自己有用感の育成
- 校内ウイング(こいこいルーム)による相談・支援の充実
- ★教職員の資質向上「教師が最大の教育環境である」自覚
- 危機管理における「気づきと発信」と「チームで対応」
- 教職員個々の生徒保護者対応力を磨き自信をつける

すべての子どもが明日も登校したいと思える学校づくり。

- 子どもが安心して学び過ごせる学校づくり(チーム学校)。
- 誰もが居心地のよい学校づくり(教育のユニバーサルデザインの推進)。
- 学校内外の関係者と連携・協力する学校づくり(学校のアカウントビリティ)。

- ①笑顔があふれ好きになる学校(居場所)：生徒が「自分を好きになれる」ことを何より大切にし、そのために一人ひとりの人権を尊重し、背景に目を向けながら丁寧に関わる
- ②魅力ある教育実践：「わかった!できた!」を実感できる授業をつくり、教え合い・学び合う中で“やってみよう”という挑戦を、それぞれの“やればできる”につなげる。
- ③生徒指導・教育相談・特別支援教育の一体化：「いつでもどこでも相談」を軸に3つの視点で生徒を見守り支援する。
- ④信頼される学校教職員：保護者対応力を高め細やかな家庭連携強化(最大の味方)と地域連携

家庭・地域・保幼小中連携

- ★家庭教育の充実 保護者の理解と協力姿勢を育む
- ★地域連携の充実
- GSを通じたボランティア活動を推進し生徒の自己有用感を育む機会を増やす
- ★関係機関連携の充実
- ★学校だより、学年通信、HP等の充実
- ★校園連携事業の推進
- 「中学校区の子どもの育ちを支える」【中学校版】
- ①「人」を大切に! 人とのつながり・思いやり
- ②「物」を大切に! 物の扱い・物事への取組姿勢
- ③「時間」を大切に! 時間に見通しをもった行動力